

第4章



ゾーン別、要素別の構想

- 1 ゾーン別の整備方針
- 2 各ゾーンの整備の方向性
- 3 要素別の整備等の方向性

第4章 ゾーン別、要素別の構想

現在の魅力・特徴や周辺との関係性を考慮しながら、プロムナード全体に人々の多様な活動（子どもが元気に遊べる、水と親しむ等）が生まれる居場所づくりを行います。

<p>1 ゾーン別の整備方針</p>	<p>現在の魅力・特徴や周辺との関係性を考慮しながら、人々の多様な活動が生まれるよう「拠点となる」「子どもが元気に遊べる」「水と親しむ」「多様な草花にふれる」「文化・芸術にふれる」「健康づくり」の6つの居場所を創出すべく、9つのゾーンごとの整備方針を示します。</p>
<p>2 各ゾーンの整備の方向性</p>	<p>西台駅周辺ゾーン：都営三田線の高架下やそれに隣接する区道、駅前広場等の西台駅周辺の環境再整備</p> <p>三田線高架沿いゾーン：水景施設の活用・撤去等を通じた遊べる空間の創出／都営三田線高架下の土地利用との連携</p> <p>前谷津川緑道周辺ゾーン：既存の水景施設や前谷津川緑道とのつながりを活かした散策ルートや休憩スペースの整備</p> <p>高島平駅周辺ゾーン：広場空間の再編、にぎわい機能の配置等による多くの人に利用される居場所の創出／旧高七小跡地の土地利用との連携</p> <p>南北軸北側ゾーン：道路空間の再配分等による徳丸ヶ原公園へのアプローチ動線の強化</p> <p>南北軸南側ゾーン：既存のケヤキ並木を活かしつつ、歩行者と自転車の通行の安全性の向上</p> <p>新高島平-高島平駅間ゾーン：樹木の適正な配置による明るい散策空間の創出</p> <p>新高島平駅周辺ゾーン：駐輪場の配置や水景施設のあり方の検討を通じた新高島平駅前の顔となる広場空間の創出</p> <p>西高島平駅周辺ゾーン：戸建住宅地と調和した落ち着いた緑地整備／西高島平駅前の空間的広がり確保／子どもの遊び場の創出</p>
<p>3 要素別の整備等の方向性</p>	<p>植栽：既存樹木の特徴を最大限に活かした適切な管理や、境界部の低木植栽の植え替え</p> <p>舗装：場所の特性や機能に応じて、空間的一体感や活動を創出する舗装材の素材や色彩を選定</p> <p>照明：安心して散策・滞在できる明るさの確保と居心地の良さとの両立を意識した設置</p> <p>ファニチャー：場所の特性に応じた移動や活動を阻害しない仕様、シンプルかつ共通デザイン</p> <p>遊び場・遊具：安全性や維持管理を考慮しつつ、豊かなみどりを活かした多様な遊びの提供</p> <p>サイン：活動に対応した様々なサインについて、デザイン方針の統一や設置検討</p> <p>柵・手すり等：緑、空、水景施設等への視線を妨げない視線の透過性に配慮したデザイン</p> <p>設備：災害時のサポート機能も考慮した独立した電源や給排水設備、多目的トイレ等の整備</p> <p>管理運営：適切な維持管理と、利用者の自由な利活用を促す新たな管理運営手法の検討</p>

1 ゾーン別の整備方針

第3章で示した全体構想を実現していくため、高島平地域の現況（魅力や課題、各種調査に基づく分析結果等）を踏まえながら、ゾーンごとに場所の特性や役割に応じた整備を行っていきます。

■居場所づくりの考え方

前述の目標「高島平の自慢となるみどり豊かな居場所をつくる」を達成するために、利用者や活動主体の裾野を拡大する意味も含めて、現在の魅力・特徴や周辺との関係性を考慮しながらプロムナード全体に下記に示すような人々の多様な活動が生まれる居場所をつくります。この居場所づくりの考え方を踏まえ、次頁（P36）にゾーンごとの整備方針を示します。

拠点となる居場所

駅及び拠点施設周辺を中心性・にぎわいを強化し、これらの施設からの誘引性を向上させます。



子どもが元気に遊べる居場所

日常的には訪れる人が少ない場所への、特定の目的を持って訪れてもらえる機能の導入も視野に、既存の公園に加え、戸建てエリアと集合住宅エリアそれぞれに子どもの遊び場を配置します。



水と親しむ居場所

せせらぎ等の既存の水景施設を活かして、魅力的な空間を創造します。個別のスポット的な水景施設については、今後の維持管理に配慮し、見直しも検討します。



多様な草花にふれる居場所

樹木密度がそれほど高くなく、日照が期待できる場所には、様々な植物を植え、植栽の多様性を強化します。



文化・芸術にふれる居場所

周辺施設（病院等）利用者の憩いの場として、アート等の芸術作品を展示する等、文化・芸術にふれられる場づくりを検討します。また、既存の図書館や区民館等の施設との連携も図っていきます。



健康づくりの居場所

東西軸、南北軸全体にわたって、散策やジョギングを楽しむことができる環境整備や仕掛けを展開します。



※写真は全てイメージです

(9) 西高島平駅周辺ゾーン

【テーマ】 彩りとのふれあい

【ターゲット】 駅利用者、子ども、園芸愛好者、散歩する人 等

【整備の方向性】

- ・戸建住宅地と調和した落ち着いた落ち着いた緑地整備
- ・西高島平駅前の空間的広がり確保
- ・子どもの遊び場の創出

【活動のイメージ】 子ども同士の外遊び、園芸、ウォーキング、おしゃべり、待ち合わせ

(8) 新高島平駅周辺ゾーン

【テーマ】 駅前の潤い

【ターゲット】 駅利用者、商店街利用者 等

【整備の方向性】

- ・駐輪場の配置や水景施設のあり方の検討を通じた新高島平駅前の顔となる広場空間の創出

【活動のイメージ】 おしゃべり、待ち合わせ

(7) 新高島平-高島平駅間ゾーン

【テーマ】 森の小径

【ターゲット】 散歩する人 等

【整備の方向性】

- ・樹木の適正な配置による明るい散策空間の創出

【活動のイメージ】 ウォーキング、リラックス

(4) 高島平駅周辺ゾーン

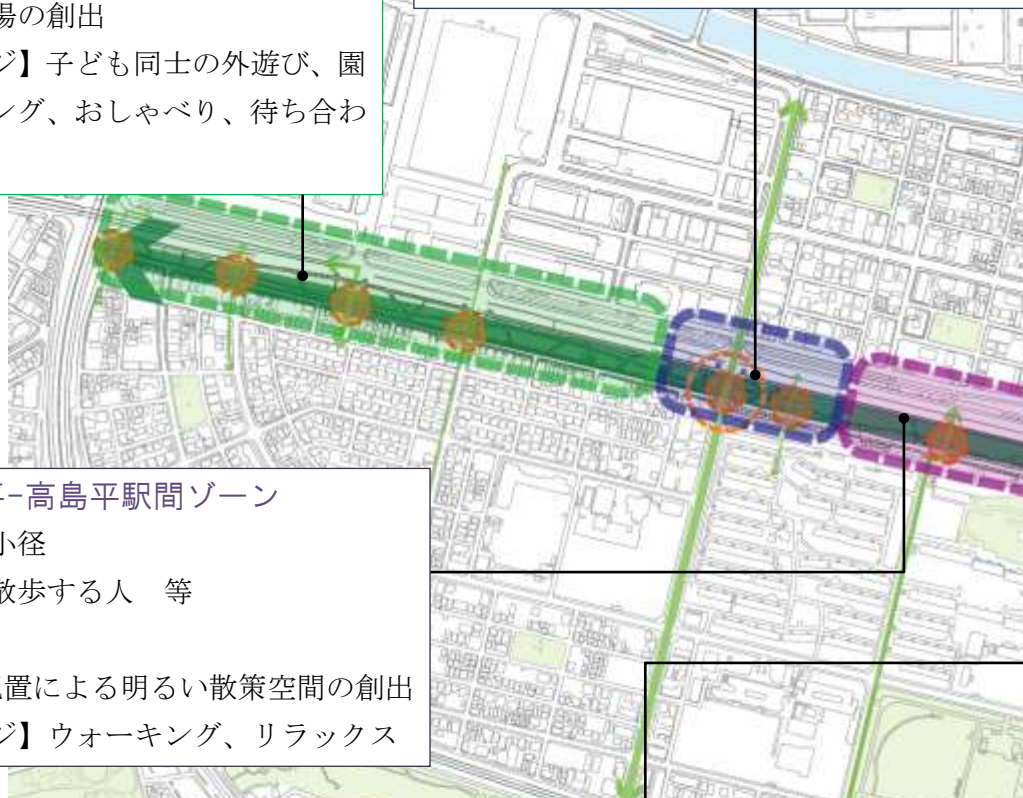
【テーマ】 ワクワクのある都会的な憩い

【ターゲット】 駅利用者、親子連れ、高齢者、若者、商店街利用者 等

【整備の方向性】

- ・広場空間の再編、にぎわい機能の配置等による多くの人に利用される居場所の創出
- ・旧高七小跡地の土地利用との連携

【活動のイメージ】 飲食、買い物、おしゃべり、読書、リラックス、待ち合わせ



凡例	
東西軸・南北軸	↔
主要な歩行者動線	→
アクションポイント	◎

(5) 南北軸北側ゾーン

- 【テーマ】川と緑への誘導
 【ターゲット】散歩する人、公園利用者、親子連れ、店舗利用者 等
 【整備の方向性】
 ・道路空間の再配分等による徳丸ヶ原公園へのアプローチ動線の強化
 【活動のイメージ】親子の公園遊び、ウォーキング、買い物

(1) 西台駅周辺ゾーン

- 【テーマ】潤いへの期待感
 【ターゲット】駅利用者、商店街利用者 等
 【整備の方向性】
 ・都営三田線の高架下やそれに隣接する区道、駅前広場等の西台駅周辺の環境再整備
 【活動のイメージ】待ち合わせ、おしゃべり、飲食、買い物

(2) 三田線高架沿いゾーン

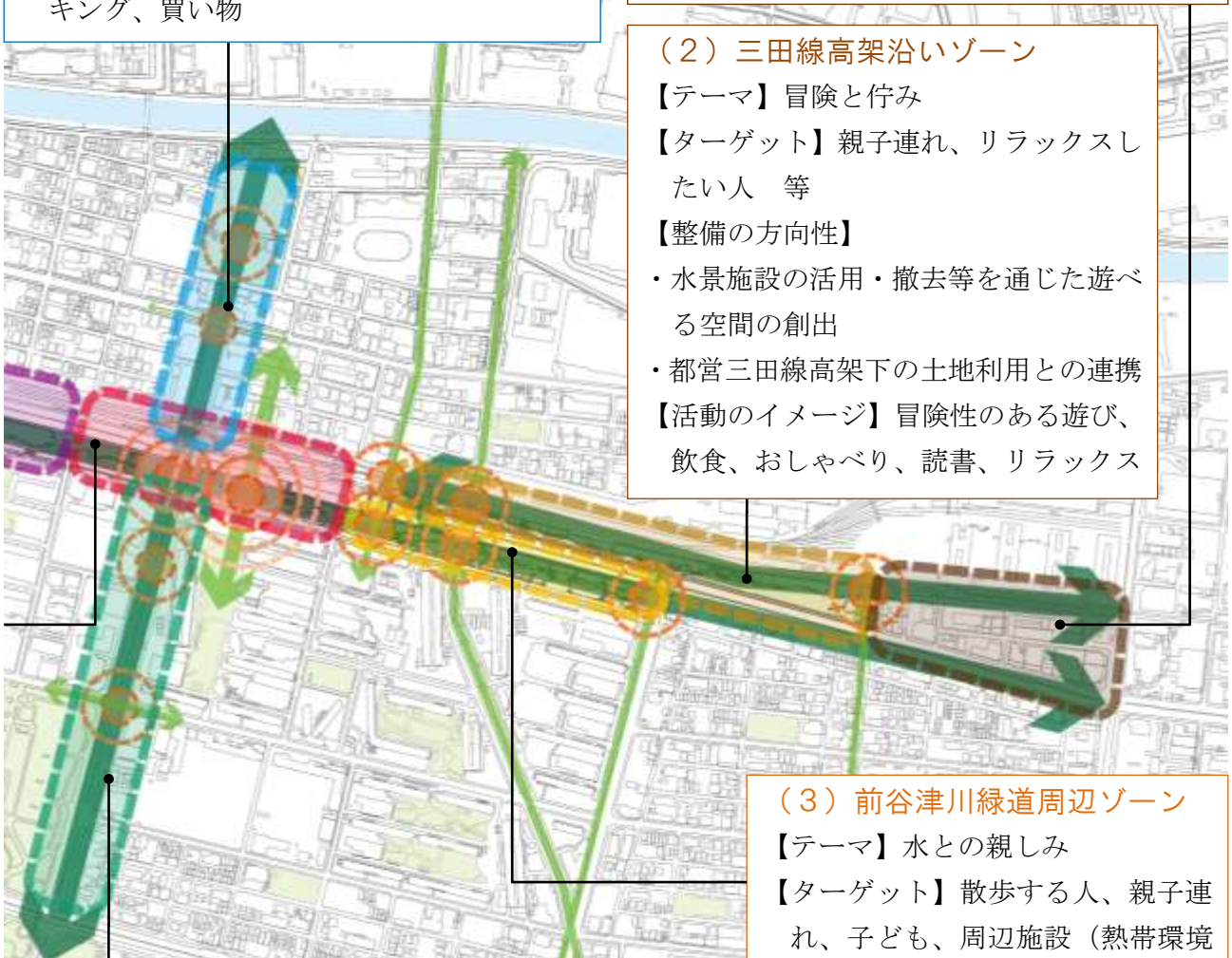
- 【テーマ】冒険と佇み
 【ターゲット】親子連れ、リラックスしたい人 等
 【整備の方向性】
 ・水景施設の活用・撤去等を通じた遊べる空間の創出
 ・都営三田線高架下の土地利用との連携
 【活動のイメージ】冒険性のある遊び、飲食、おしゃべり、読書、リラックス

(3) 前谷津川緑道周辺ゾーン

- 【テーマ】水との親しみ
 【ターゲット】散歩する人、親子連れ、子ども、周辺施設（熱帯環境植物館、高島平温水プール、高島平ふれあい館、病院等）利用者、園芸愛好者、商店街利用者 等
 【整備の方向性】
 ・既存の水景施設や前谷津川緑道とのつながりを活かした散策ルートや休憩スペースの整備
 【活動のイメージ】水辺の散策、水とのふれあい、芸術鑑賞、園芸

(6) 南北軸南側ゾーン

- 【テーマ】景観を軸とした地域の顔
 【ターゲット】散歩する人、周辺施設（公園、図書館等）利用者、観光客 等
 【整備の方向性】
 ・既存のケヤキ並木を活かしつつ、歩行者と自転車の通行の安全性の向上
 【活動のイメージ】写真撮影、イルミネーション鑑賞、ウォーキング



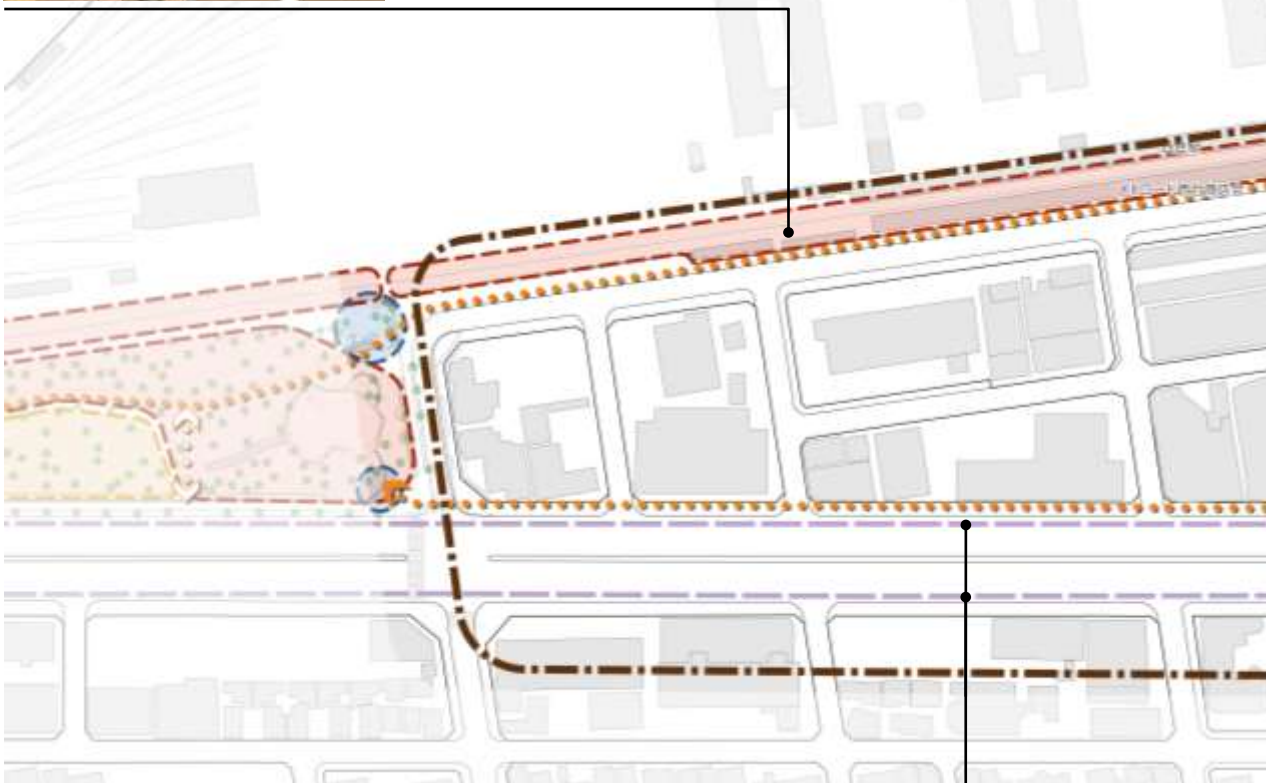
2 各ゾーンの整備の方向性

(1) 西台駅周辺ゾーン

都営三田線の高架下やそれに隣接する区道との連携による快適な歩行空間や駅前広場への待ち合わせ空間の創出、西台駅周辺の環境再整備により、駅や商店街等利用者に**みどりの潤い空間である高島平緑地への期待感を持たせ、誘導するような空間づくり**を行います。



○西台駅と緑地を結び、視認性や歩きやすさを高める歩道空間の再整備等の検討



○自転車走行空間の検討

○場所を特定しない、ゾーン全域に関する整備内容

- ・照明器具のみどりと調和するシンプルなデザインでの統一
- ・照明の更新・新設による、利用者が安心して散策・滞在できる明るさの確保
- ・自転車利用の拠点機能導入を検討（シェアサイクルのポート等）



既存の歩行者動線の強化
(歩きやすさ・視認性の向上等)



自転車と歩行者の分離、共存のあり方の検討



にぎわいを創出する空間



停留を促進する空間

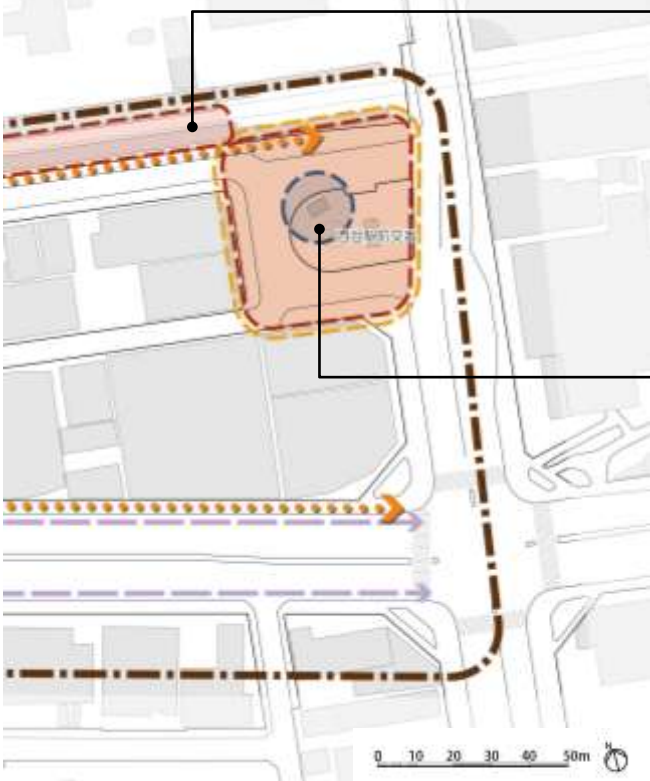


その他(景観・動線・バリアフリー等)の整備に関する空間



○沿道施設の建て替え・改修に合わせた顔づくり、にぎわいづくり

○連続性を感じられる空間づくりに向けた隣接商店街との連携



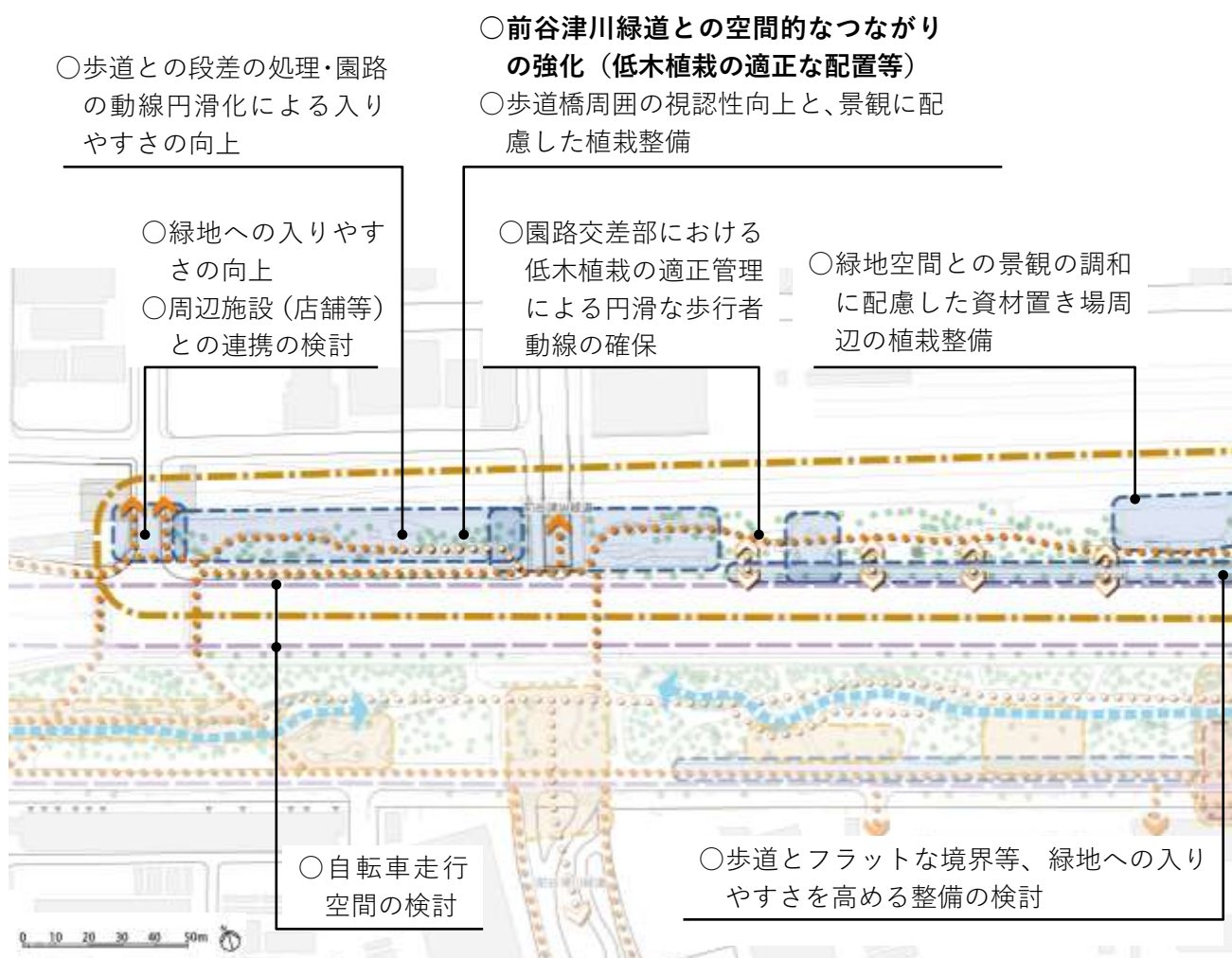
○駅前の滞留やにぎわいを生み出す広場の再整備の検討

○トイレの改修



(2) 三田線高架沿いゾーン

水景施設の活用・撤去等を通じた遊べる空間の創出により、みどりの空間の中に**冒険性のある遊びが生まれるような、子どもがより楽しめる場づくり**を行います。遊びの場の周囲には、都営三田線高架下の土地利用とも連携しながら、親が子どもを見守ったり、地域の人がりラックスしながらおしゃべりや読書、飲食等を楽しんだりするといった、**みどりを感じながらゆっくりと時間を過ごせる居場所づくり**を行います。



○場所を特定しない、ゾーン全域に関する整備内容

- ・照明器具のみどりと調和するシンプルなデザインでの統一
 - ・照明の更新・新設による、利用者が安心して散策・滞在できる明るさの確保
 - ・樹木を照らすアップライト等、照明による空間演出
 - ・既存ファニチャー[※]の改修・更新
- ※ベンチ・テーブル等の街路や緑地の備品



- 

既存の歩行者動線の強化
(歩きやすさ・視認性の向上等)
- 

にぎわいを創出する空間
- 

新たな歩行者動線の確保
- 

滞留を促進する空間
- 

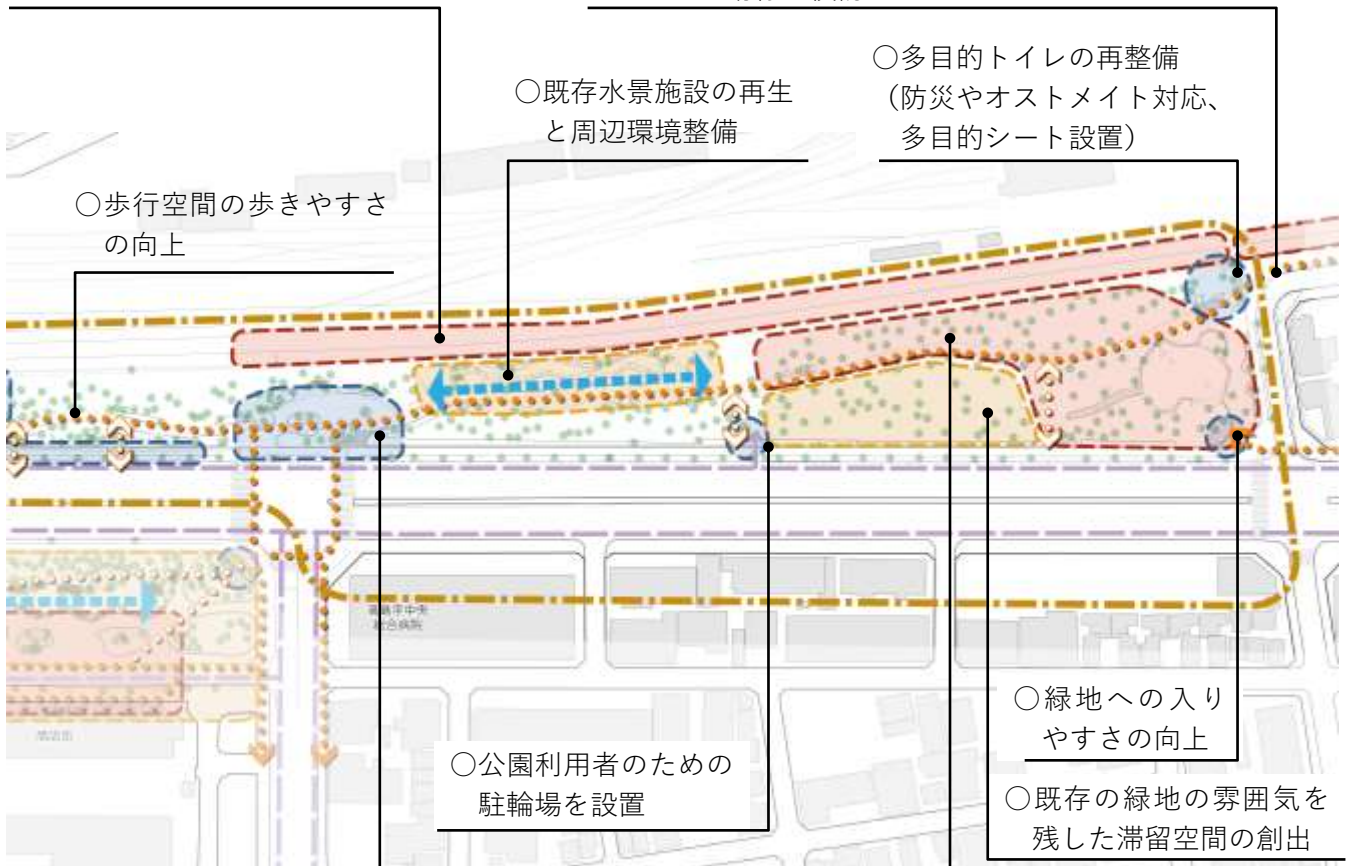
自転車と歩行者の分離、共存のあり方の検討
- 

その他（景観・動線・バリアフリー等）の整備に関する空間
- 

水路周辺の散策・滞留環境整備

○高架下の土地利用と緑地空間との連携や景観の調和を配慮したイメージの検討

- 西台駅方面からの円滑な導入路の整備
- 緑道内への視認性やバリアフリー動線の検討



- 交差点部における低木植栽の適正管理による円滑な歩行者動線の確保
- 周辺施設（病院等）や緑地南側からの誘引性を高める見通しの確保や入口空間の検討

- 既存の水景施設機能を廃止し、子どもを中心としたにぎわいを生む遊び場の創出
- 飲食店舗等、子どもの遊びを見守りながら大人が時間を過ごせる空間の導入検討
- 子どものアートや教育の場としての活用の創出



※写真は全てイメージです

(3) 前谷津川緑道周辺ゾーン

既存の水景施設や前谷津川緑道とのつながりを活かした**水辺の散策ルート**や**休憩スペース**の整備により、親子が水と親しめたり、周辺施設（熱帯環境植物館、高島平温水プール、高島平ふれあい館、病院等）や商店街の利用者の交流が生まれたり、園芸や芸術鑑賞の場となったりといった、**多様な活動の場となる、水とみどりが調和した空間づくり**を行います。

○広場空間での、水との関わり方・距離感を多様化させる仕掛け（ファニチャーのバリエーション、段差を利用した広場空間等）の検討

○コミュニティガーデンや四季折々の草花による区民花壇等のみどりとふれ合える憩いの場の創出検討



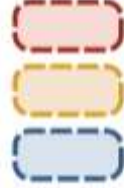
○緑地から前谷津川緑道への円滑な歩行者動線の確保

○場所を特定しない、ゾーン全域に関する整備内容

- ・ 既存ファニチャーの改修・更新
- ・ 視線の透過性に配慮したデザインの手すりへの更新
- ・ 広場やコミュニティ花壇の周辺等への電源供給設備や給排水設備の導入
- ・ 災害時に備えたマンホールトイレ設置用の汚水ますの整備
- ・ 照明器具のみどりと調和するシンプルなデザインでの統一
- ・ 照明の更新・新設による、利用者が安心して散策・滞在できる明るさの確保
- ・ 樹木を照らすアップライト等、照明による空間演出



既存の歩行者動線の強化
(歩きやすさ・視認性の向上等)
新たな歩行者動線の確保
自転車と歩行者の分離、共存のあり方の検討
水路周辺の散策・滞留環境整備

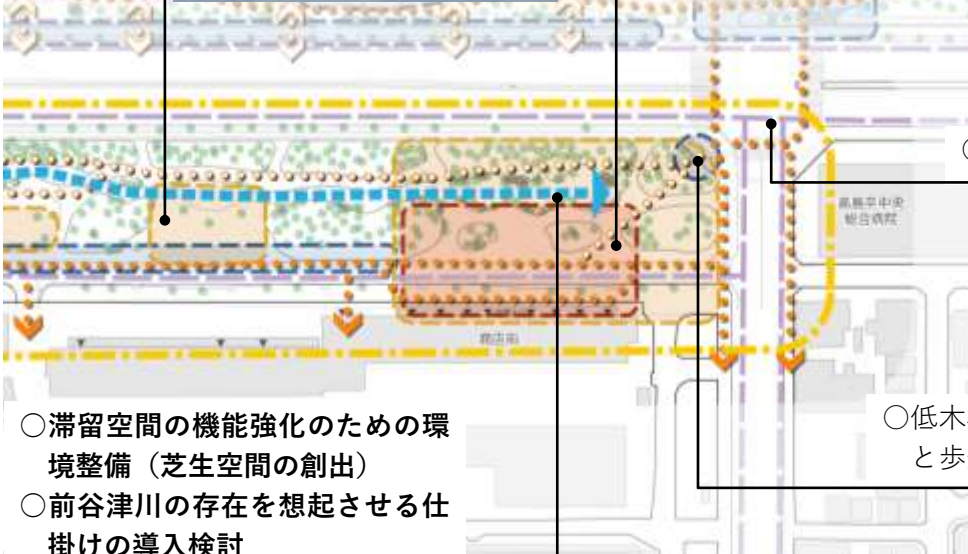


にぎわいを創出する空間
滞留を促進する空間
その他(景観・動線・バリアフリー等)の整備に関する空間

- 滞留空間の機能強化のための環境整備
- 緑地内広場と区道、沿道外構部の一体的な空間づくり
- ミストタイプの噴水等維持管理に配慮した水景施設の検討



- 滞留空間の機能強化のための環境整備
- 緑地内広場と区道、沿道外構部の一体的な空間づくり
- 周辺施設(病院等)利用者の憩いの場となる広場空間の創出
- 緑地を含めたイベントの実施等による隣接商店街との連携
- 触れるオブジェ等の親しみを持てるアート作品の設置検討



○自転車走行空間の検討

○低木植栽の剪定による見通しと歩道幅員の確保

- 滞留空間の機能強化のための環境整備(芝生空間の創出)
- 前谷津川の存在を想起させる仕掛けの導入検討
- 緑地内広場と区道、沿道外構部の一体的な空間づくり
- 多目的トイレの再整備(防災やオストメイト対応、多目的シート設置)

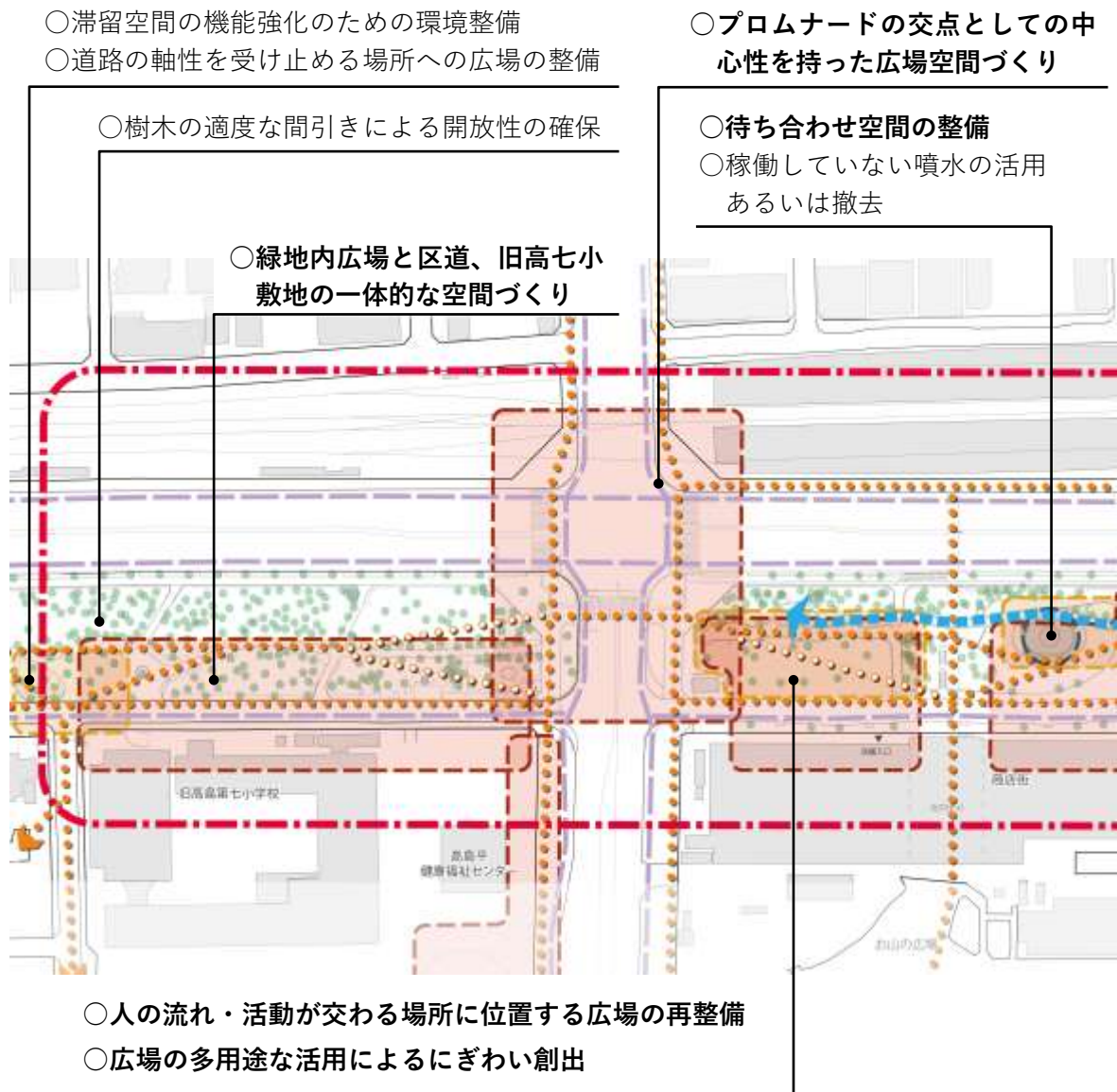
- 歩道の拡幅・新設により歩行者動線の直進性を確保
- 老朽化部分の修繕による水景施設の活用
- 水辺に多様な滞留空間を創出し、水路の親水性の向上



※写真は全てイメージです

(4) 高島平駅周辺ゾーン

おしゃべりや読書、待ち合わせといった**多様な滞留**が生まれる**広場空間の再編**や、**飲食や買い物**といった**にぎわい機能の配置**を通じて、親子連れ、高齢者、若者といった**多世代の人が集える居場所をつくり**、いつも何かが行われているような期待感を抱かせる、**ワクワク感のある都会的な憩いの場を創出**します。また、**旧高七小跡地の土地利用との連携**も積極的に図っていきます。

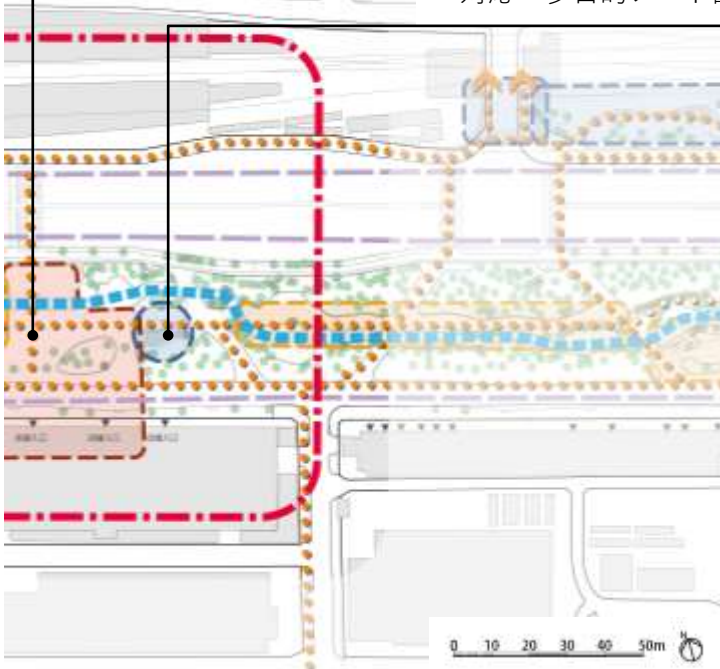




- マルシェや移動販売車等の展開による日常的なにぎわい創出
- 地域活動や地域価値の向上を見据えた定期的なにぎわいイベントの開催
- イベント等での使いやすさを向上させる設備(給水設備、電源等)の整備



○多目的トイレの改修(防災やオストメイト
対応・多目的シート設置)



※写真は全てイメージです

○場所を特定しない、ゾーン全域に関する整備内容

- ・既存ファニチャーの改修・更新
- ・広場やコミュニティ花壇の周辺等への電源供給設備や給排水設備の導入
- ・自転車利用の拠点機能導入を検討(シェアサイクルのポート等)
- ・車いすやベビーカーの利用に配慮した、園路や歩道・通路等の舗装の検討
- ・災害時に備えたマンホールトイレ設置用の汚水ますの整備
- ・照明器具のみどりと調和するシンプルなデザインでの統一
- ・照明の更新・新設による、利用者が安心して散策・滞在できる明るさの確保
- ・樹木を照らすアップライト等、照明による空間演出

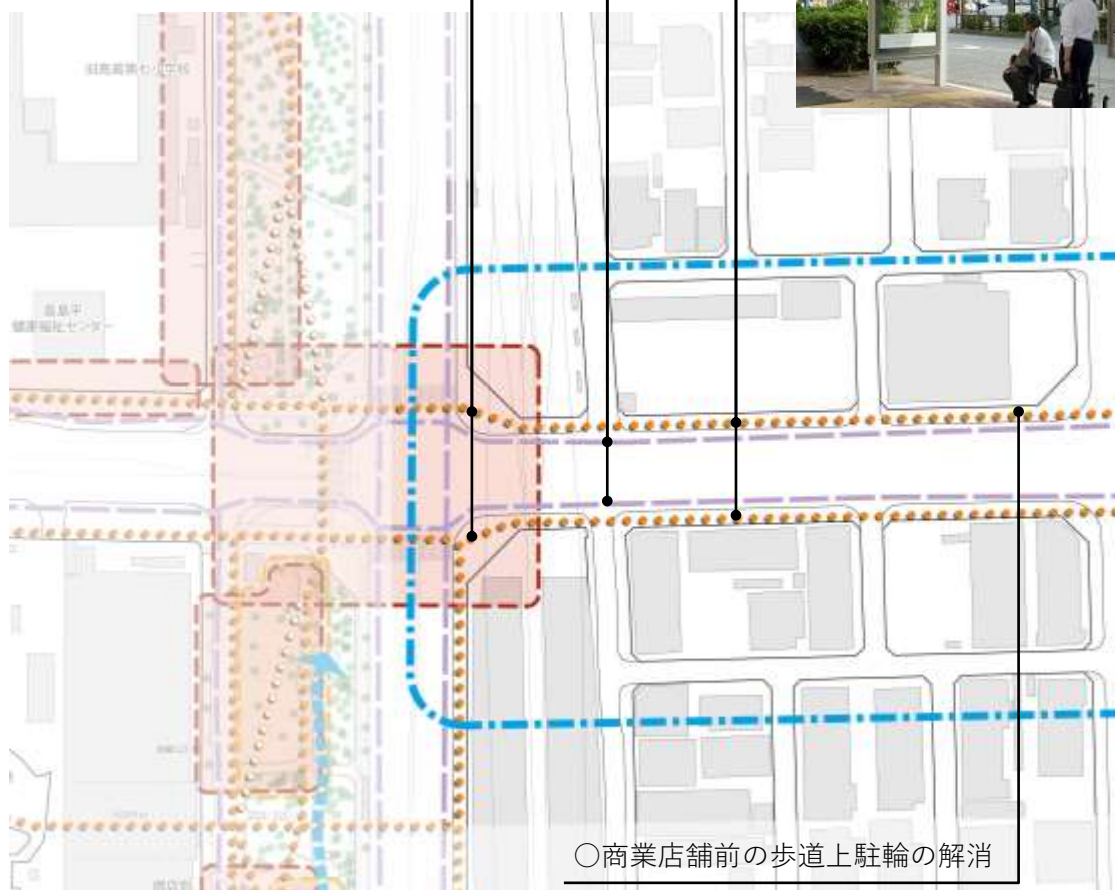
(5) 南北軸北側ゾーン

道路空間の再配分等により、徳丸ヶ原公園へのアプローチ動線の快適性を向上させ、**川とみどりへの軸線を強化**します。徳丸ヶ原公園では、公園の更新にあわせて、こども動物園の再構築等により、親子が更に遊びやすい環境づくりを行います。

○道路空間の再編等による自転車走行空間の検討

○バス停上屋の整理・改修に向けた働きかけ

○低木植栽帯の剪定・適正化



○商業店舗前の歩道上駐輪の解消

○場所を特定しない、ゾーン全域に関する整備内容

○車いすやベビーカーの利用に配慮した、歩道等の舗装の検討

○照明器具のみどりと調和するシンプルなデザインでの統一



既存の歩行者動線の強化
(歩きやすさ・視認性の向上等)



自転車と歩行者の分離、共存のあり方の検討

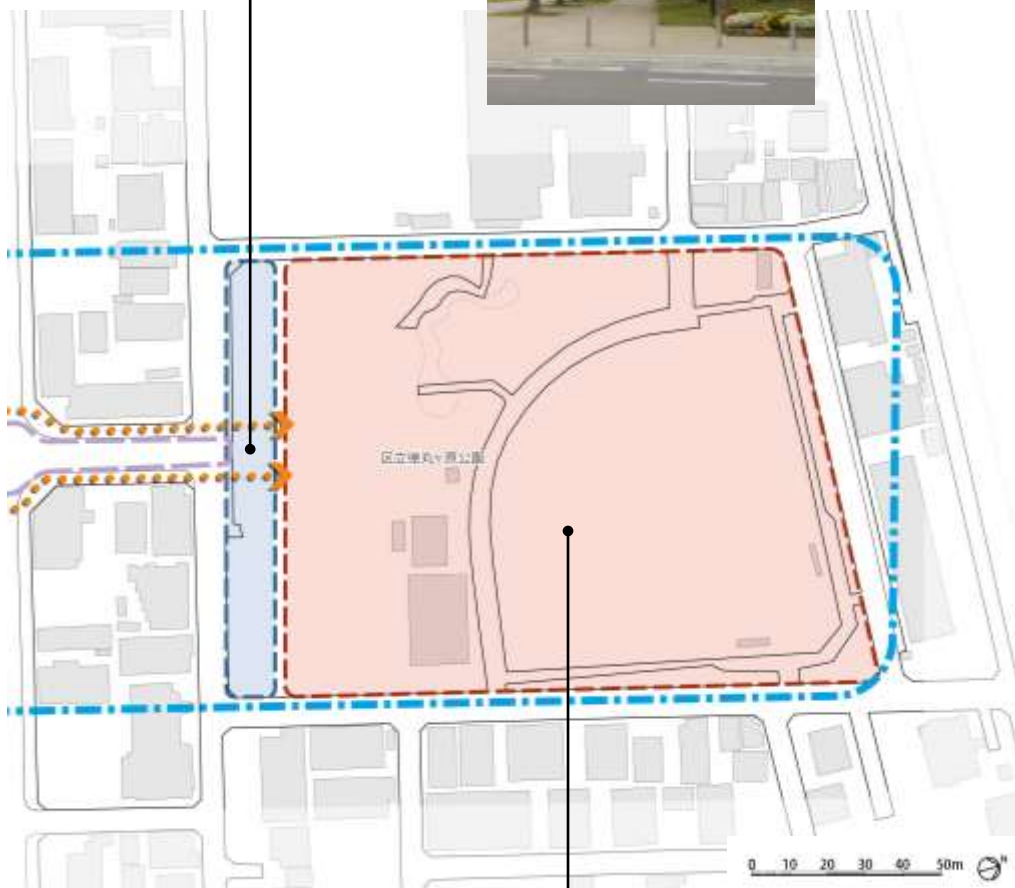


にぎわいを創出する空間



その他(景観・動線・バリアフリー等)の整備に関する空間

○内部への視認性の確保等による、奥行きを感じる入口空間への改善



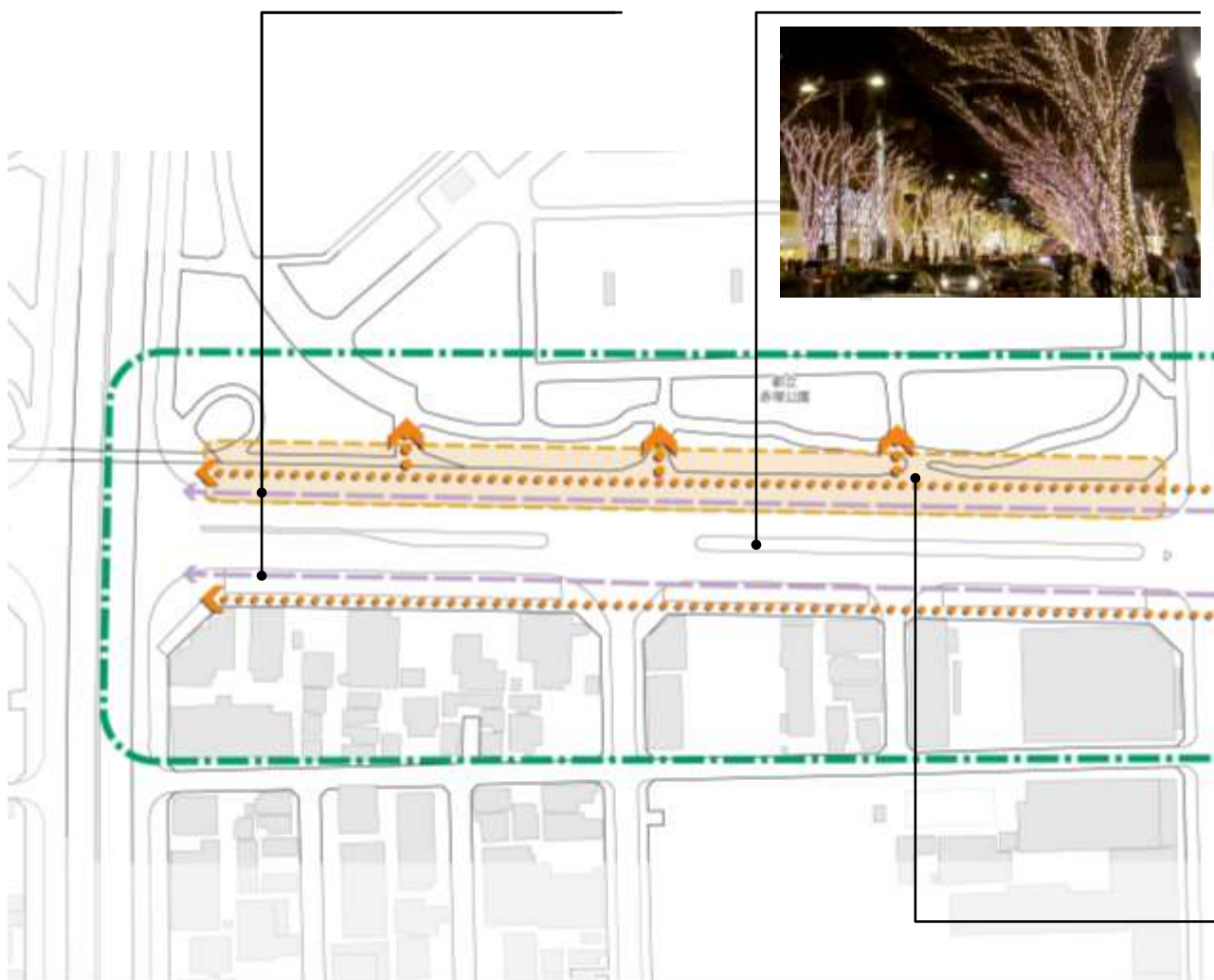
- 日常的な使いやすさの向上
- こども動物園の更なる充実の検討(規模・イベント等)

(6) 南北軸南側ゾーン

民間事業者等の民間活力を用いたイルミネーション等のソフト事業を検討する等、既存のケヤキ並木の活用による**歩いて楽しい環境整備**を行いつつ、歩行者と自転車の通行の安全性を向上させ、赤塚への**景観を軸とした地域の顔づくり**を行います。

○道路空間の再編等による
自転車走行空間の検討



○イルミネーション等、既存のケヤキ
並木を活用した取組の推進





○場所を特定しない、ゾーン全域に関する整備内容

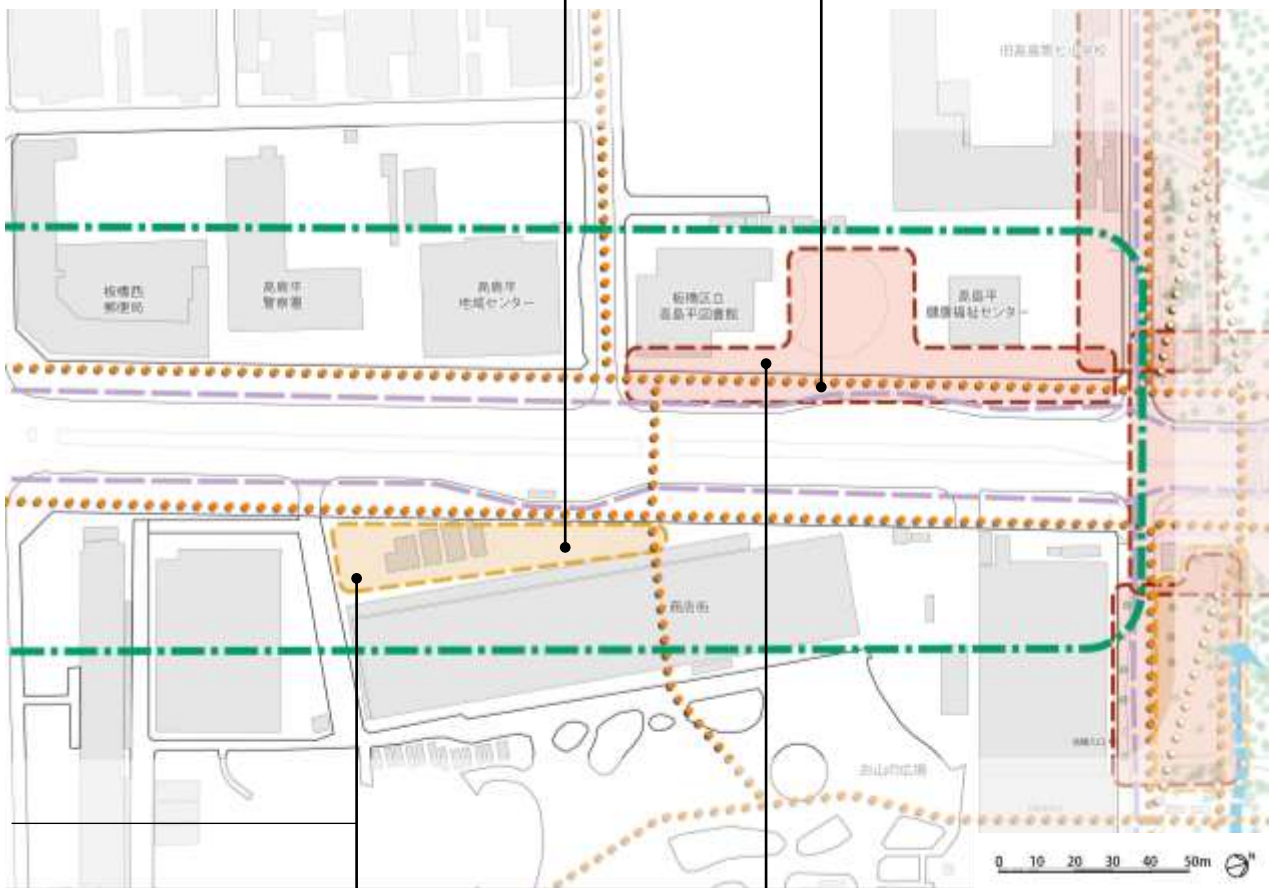
- ・広場やコミュニティ花壇の周辺等への電源供給設備や給排水設備の導入
- ・車いすやベビーカーの利用に配慮した、歩道・通路等の舗装の検討
- ・照明器具のみどりと調和するシンプルなデザインでの統一



-  既存の歩行者動線の強化
(歩きやすさ・視認性の向上等)
-  自転車と歩行者の分離、共存のあり方の検討

-  にぎわいを創出する空間
-  滞留を促進する空間

○バス待ちの滞留空間確保に向けた働きかけ



○沿道の公園や広場と一体的な滞留空間の創出

○図書館前の広場等の区有地と都道の一体感の創出・連携による活用



※写真は全てイメージです

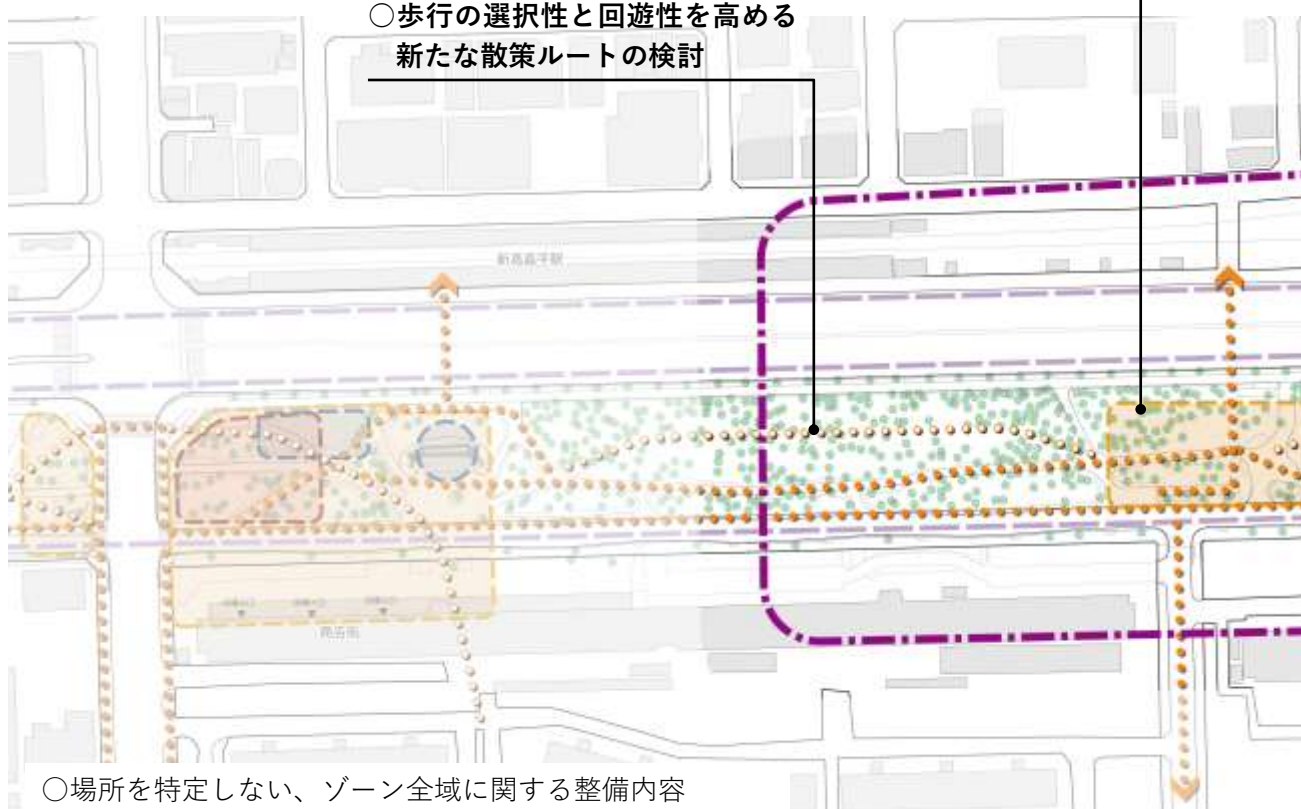
(7) 新高島平-高島平駅間ゾーン

既存の豊かなみどりの空間を尊重しつつ、樹木の適正配置によって明るい散策空間を生み、**みどりを楽しみながら散策できる森の小径**を創出します。

- 低木植栽の剪定による見通しと歩道幅員の確保
- 既存の竹植栽を利用した、散策空間の創出



- 歩行の選択性と回遊性を高める
新たな散策ルートを検討



- 場所を特定しない、ゾーン全域に関する整備内容

- ・ 既存ファニチャーの改修・更新
- ・ 広場やコミュニティ花壇の周辺等への電源供給設備や給排水設備の導入
- ・ 区道から緑地内への見通しを確保した境界部の植栽
- ・ 車いすやベビーカーの利用に配慮した、園路や歩道・通路等の舗装の検討
- ・ 災害時に備えたマンホールトイレ設置用の汚水ますの整備
- ・ 照明器具のみどりと調和するシンプルなデザインでの統一
- ・ 照明の更新・新設による、利用者が安心して散策・滞在できる明るさの確保
- ・ 樹木を照らすアップライト等、照明による空間演出



既存の歩行者動線の強化
(歩きやすさ・視認性の向上等)



にぎわいを創出する空間



新たな歩行者動線の確保



自転車と歩行者の分離、共存のあり方の検討

○歩行の選択性と回遊性を高める
新たな散策ルートのご検討



○滞留空間の機能強化のための環境整備

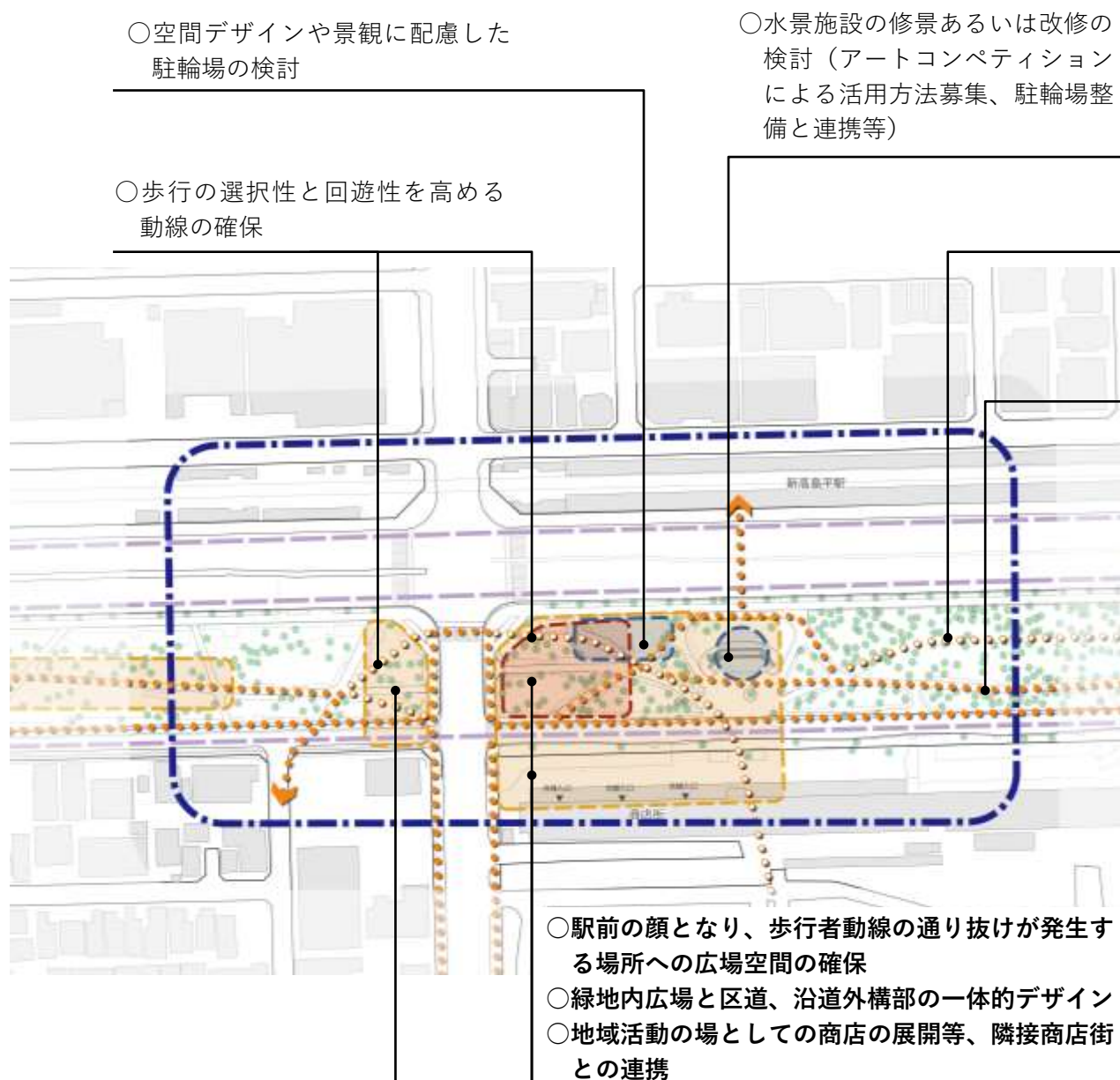
○緑地内広場と区道、沿道外構部の一体的な空間づくり

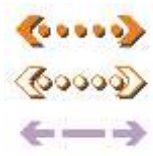


※写真は全てイメージです

(8) 新高島平駅周辺ゾーン

駐輪場の配置や水景施設のあり方の検討等、**新高島平駅前の顔となる広場空間づくり**により、駅利用者や商店街利用者によるおしゃべりや待ち合わせといった**日常的な活動**が生まれる、**みどりと潤いある場**を創出します。



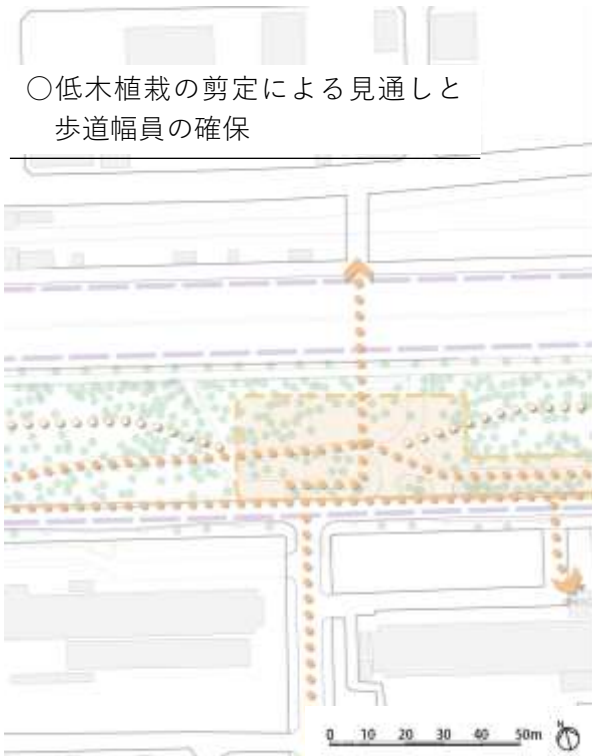


既存の歩行者動線の強化
(歩きやすさ・視認性の向上等)
新たな歩行者動線の確保
自転車と歩行者の分離、共存のあり方の検討



にぎわいを創出する空間
滞留を促進する空間
その他(景観・動線・バリアフリー等)の整備に関する空間

○歩行の選択性と回遊性を高める
新たな散策ルートへの検討



○低木植栽の剪定による見通しと
歩道幅員の確保

※写真は全てイメージです

○場所を特定しない、ゾーン全域に関する整備内容

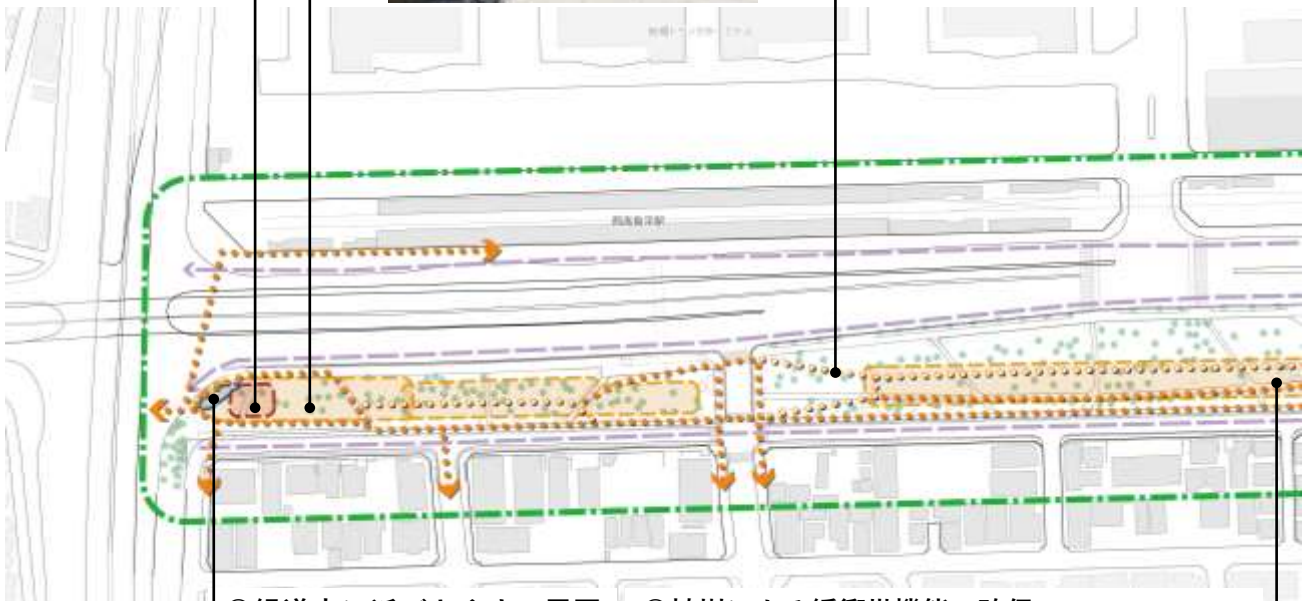
- ・ 既存ファニチャーのリノベーション
- ・ 広場やコミュニティ花壇の周辺等への電源供給設備や給排水設備の導入
- ・ 区道から緑地内への見通しを確保した境界部の植栽
- ・ 車いすやベビーカーの利用に配慮した、園路や歩道・通路等の舗装の検討
- ・ 自転車利用の拠点機能導入を検討(シェアサイクルのポート等)
- ・ 災害時に備えたマンホールトイレ設置用の汚水ますの整備
- ・ 照明器具のみどりと調和するシンプルなデザインでの統一
- ・ 照明の更新・新設による、利用者が安心して散策・滞在できる明るさの確保
- ・ 樹木を照らすアップライト等、照明による空間演出

(9) 西高島平駅周辺ゾーン

西高島平駅前に草花と一体となった広場を創出し、おしゃべりや待ち合わせができる空間的広がり確保するとともに、地域住民による園芸の場としても活用します。また、明るい空間に子どもの外遊びの場を設けつつ、緑地境界部の改善によって戸建住宅地と調和した落ち着いた落ち着きのある緑地空間を創出し、ウォーキング等の健康づくりを快適に行える環境をつくりまします。

○散策も滞留も楽しめる、草花と一体となった広場空間の創出

- 歩行の選択性と回遊性を高める
新たな散策ルートの検討
- ベンチ等の休憩施設の設置



- 緑道内に近づきやすい雰囲気への改善や視認性確保
- 空間デザインや景観に配慮した駐輪場の検討

- 植樹による緩衝帯機能の確保
- 芝生やウッドチップ等、目的に応じて舗装材等を工夫することで地域の子どもの遊び場を創出

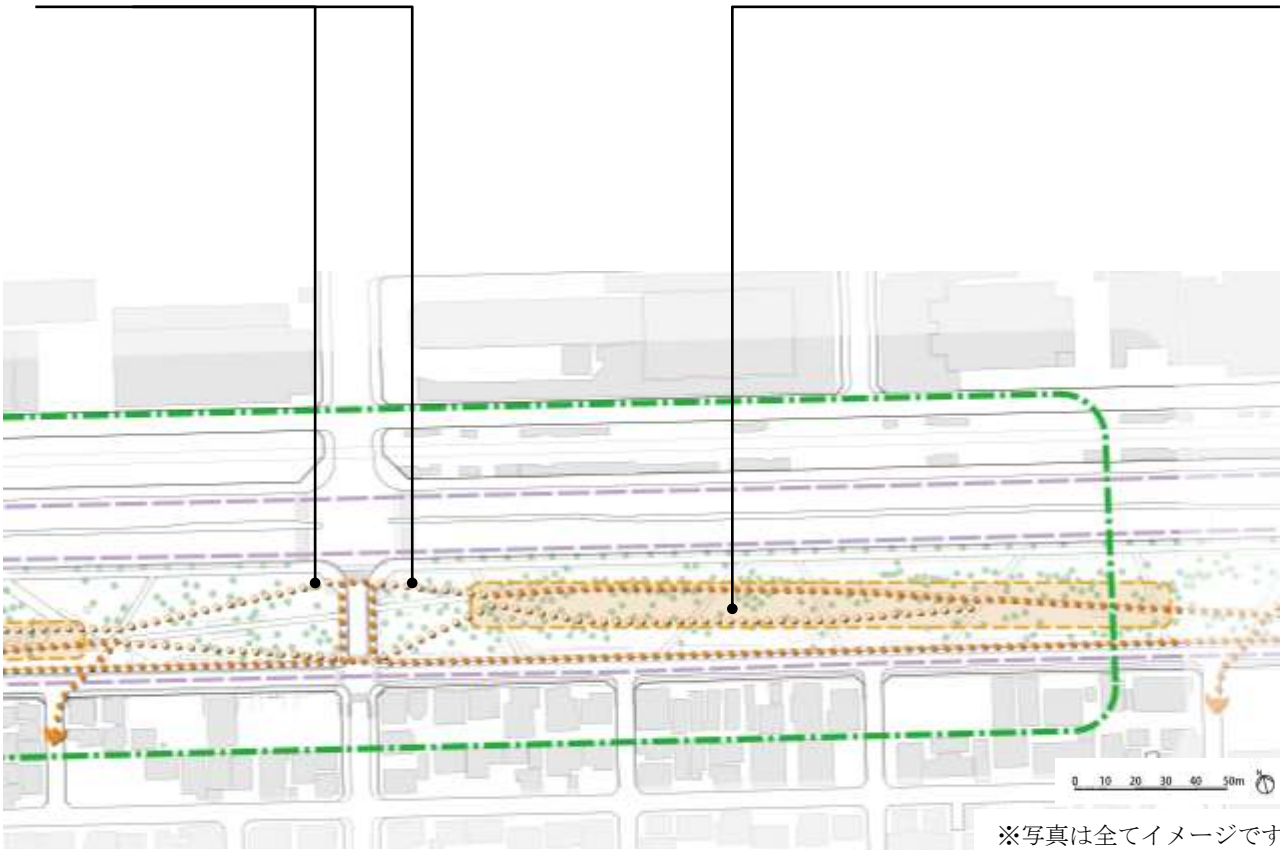




- | | | | |
|--|--------------------------------|--|-----------------------------|
| | 既存の歩行者動線の強化
(歩きやすさ・視認性の向上等) | | にぎわいを創出する空間 |
| | 新たな歩行者動線の確保 | | 滞留を促進する空間 |
| | 自転車と歩行者の分離、共存のあり方の検討 | | その他(景観・動線・バリアフリー等)の整備に関する空間 |

○歩行の選択性と回遊性を高める動線の確保

- 歩行の選択性と回遊性を高める新たな散策ルートの検討
- 既存のイチョウ並木も楽しめるベンチ等の休憩施設の設置



※写真は全てイメージです

○場所を特定しない、ゾーン全域に関する整備内容

- ・既存ファニチャーの改修・更新
- ・広場やコミュニティ花壇の周辺等への電源供給設備や給排水設備の導入
- ・区道から緑地内への見通しを確保した境界部の植栽
- ・車いすやベビーカーの利用に配慮した、園路や歩道・通路等の舗装の検討
- ・自転車利用の拠点機能導入を検討(シェアサイクルのポート等)
- ・照明器具のみどりと調和するシンプルなデザインでの統一
- ・照明の更新・新設による、利用者が安心して散策・滞在できる明るさの確保
- ・樹木を照らすアップライト等、照明による空間演出

3 要素別の整備等の方向性

ここでは、プロムナード全体の利便性や空間性について一貫性を持って高めていくための留意事項を要素別に記載しています。

これら要素別の方向性は、各要素間の関係についても総合的に検討していきます。

(1) 植栽

既存樹木の特徴を最大限に活かすことを念頭に置きつつ、緑地内への入りやすさや、園路・歩道への圧迫感の軽減等に配慮し、樹木の適切な管理や、境界部の低木植栽の植え替え等を行っていきます。

- ・人々がくつろげる木陰スペースを提供する樹木や開放的な雰囲気を楽しめる芝、季節を感じる草木等を効果的に組み合わせることで、多様な緑の空間を提供し、緑地内外でのバラエティ豊かな活動を引き出します。
- ・緑地と区道の境界部については、緑地内の見通しを確保しつつ、住宅地側との心理的な距離感を適切に保つことに配慮します。
- ・植栽の維持管理については、樹種、配置、育成状況や利用者の安全・安心や親しみある空間づくり等も考慮し、長期的な視点に立って樹木の保護・更新等の対策方針を検討し、必要に応じて植栽計画を作成する等、計画的に実施していきます。
- ・伐採後の切り株の取り扱いや木材の利活用についても、検討します。



樹木や草花が調和した空間づくり



見通しや入りやすさ、歩道側への圧迫感の軽減が考慮された境界部

(2) 舗装

高島平緑地内の園路・広場、区道や都道の歩道・自転車レーン、周辺施設敷地内の広場・通路等、それぞれの機能に応じて舗装材の素材や色彩を選定していきます。

- ・空間的な一体感が重要な場所（例：緑地内の広場と区道・周辺施設敷地内の広場が連続する場所等）については、色彩や素材感を統一することを検討します。
- ・広場では想定される利用目的等に応じて、可動のファニチャー（イス・テーブルや屋台等）の設置のしやすさや水はけ等、多様な活用に配慮した舗装の検討を行います。
- ・園路や歩道・通路等の歩行者空間については、車いすやベビーカーの利用に配慮し、凹凸の少ない素材を用います。
- ・緑地内の園路については、現在生じているがたつきの解消を考慮しつつ、みどりとの調和がとれた素材を用います。



広場と歩道の一体的な舗装



ベビーカーの利用に配慮しつつ、ウッドチップや芝生等の多様な舗装を使用

(3) 照明

照明は、利用者が安心して散策・滞在できる明るさを確保することに加え、演出性の高い照明で夜の魅力をより一層引き立たせる等、明るさと居心地の良さが両立された空間づくりを意識し設置していきます。

- ・プロムナード内の照明器具は、みどりと調和するシンプルなデザインで統一します。また、昼間でも周辺の景観を阻害しないポールや灯具の色と大きさとしします。
- ・照明の目的に応じた照明器具の高さを検討し、眩しさを感じさせず、色温度の低い温かみのある照明を用います。また、LED電球等の積極的な導入による省エネルギーへの配慮や、自然エネルギーの活用等の検討等、災害時利用への配慮も行います。
- ・夜間の明るさを効果的に確保しつつ、みどり豊かな空間を感じられるように、樹木を照らすアップライトや照明と一体的なファニチャー等を適宜配置します。



シンプルかつみどりの空間と調和するデザインの照明器具



足元の明かりで夜の空間を演出する、手すりと一体となった照明器具



樹木を照らすことで、明るさを確保しつつ空間を演出するアップライト照明

※写真は全てイメージです

(4) ファニチャー（ベンチ・テーブル等）

ベンチやあずまや等は、その機能を効果的に発揮するとともに、歩行者の移動や利用者の活動を阻害しない場所に設置し、色彩や部材を共通化する等シンプルかつ総合的にデザインしていきます。

- ・既存ファニチャーの改修や更新を行いながら、適宜新たなファニチャーを加えていくことで、新旧が調和した、地域の人々に愛着を持たれる空間づくりを行っていきます。
- ・ベンチやテーブル等の人と接するファニチャーについては、外観の変質が少ない耐久性のある素材や表面加工を採用します。
- ・滞留空間のファニチャーについては、基本的には緑と調和する落ち着いた色彩や素材としますが、にぎわいの場や子どもの遊び場では親しみや愛着がわくような色彩を用いる等、場所の特性や目的に応じて柔軟に選定します。
- ・みどりとファニチャーによって居心地よい滞留空間をつくり出すために、植栽帯の立ち上がりをベンチとしても利用できる仕様にする等、場所の特性に応じたファニチャーの設置方法も検討します。
- ・イベント時に活用する可動式ベンチやテーブルについては、常設のファニチャーとの調和や対比を考慮して選定します。



みどりと調和する色彩のファニチャー



植栽帯の立ち上がりを利用して設けられたファニチャー



周辺のみどりと調和した休憩施設

(5) 遊び場・遊具

子どもの遊び場については、多様なバリエーションの遊びを提供できる遊具等を用いることや、安全性の確保や維持管理について考慮することが必要です。豊かなみどりを活かした遊びの場を提供するため、遊具の種類や色彩、配置方法等を工夫します。

- ・遊具の接地場所や周囲の地面は、柔らかい土やゴムチップ舗装等、遊具からの転落等の際に子どもの安全が確保できる仕様とします。
- ・遊具は、場所の特性に応じた色彩やデザインを選択します。
- ・遊び場の周囲で親が子どもを見守れる空間づくりも、場所の特性に応じて行っていきます。
- ・みどりを活かした遊び場とするには、ツリーハウスやターザンロープ等、樹木の空間を最大限楽しめるような遊具の設置が有効です。そのような特殊な遊具の設置については、管理の方法を含め、検討していきます。



遊具の周囲に保護者の滞留スペースが設けられた、子どもを見守れる空間

(6) サイン

プロムナードでの多様な活動を促進するためには、適切な場所に移動の円滑性を支援する案内板を設置するとともに、活動に対応した様々なサインが必要となります。これら多様なサインについては、デザインの方針を統一し、表示字体や形状等を整えていきます。

- ・ユニバーサルデザインの観点から、誰もが利用しやすい表示内容や方法とします（多言語表示とする、アイコンやイラストを積極的に用いる、視認性の高いデザインとする、表示面の設置高さや角度を工夫する等）。
- ・みどりの空間との調和にも配慮したデザインとします。
- ・ウォーキング等の運動による健康維持に役立つ、距離表示の設置を検討します。
- ・樹木板の設置を検討します。単に樹種名のみを表示するのではなく、樹木の特徴の説明や、種や花の写真を掲載する等、子どもの環境教育に役立つものとします。



行き先案内と距離表示を兼ねたサイン



素材感のあるサイン



樹木に関する丁寧な解説板

(7) 柵・手すり等

安全性の確保や維持管理上必要となる柵（横断防止柵、落下防止柵）・手すり等は、基本的にその存在が目立つことなく、視線の透過性に配慮したデザインとし、緑、空、水景施設等への視線を妨げないものとします。

- ・自然素材や金属等、みどりの空間との調和を考慮した素材や景観に溶け込む様な落ち着いた色彩を用います。
- ・部材は見付幅の小さいものを用い、見通しの良さを確保します。



遠目では、ほとんど気づかない細い材で構成されている柵



低コストで仕上げつつも、透過性を確保している柵



間伐材を用い周囲のみどりに馴染む落ちついた柵

※写真は全てイメージです

(8) 設備

災害時のサポート機能も考慮した独立した電源や給排水設備、多目的トイレ等の整備をすることで、多様な人々の利用や活動を可能とします。

- ・ 主要な広場やコミュニティ花壇の周辺には、活用の幅を広げるための電源供給設備や給排水設備を導入します。その他の広場や園路沿いには、ライトアップに必要な電源設備を整備する等、多様な活動やイベントの実施を考慮した設備を適宜導入します。
- ・ 設備はファニチャーと一体的に整備する等、使い勝手と見た目の双方に配慮します。
- ・ 車いす使用者が利用できる広さや手すり等に加えて、オストメイト対応の設備や多目的シート、ベビーチェア等を備えることで、車いす使用者だけでなく、高齢者、障がい者、子ども連れ等の多様な人が利用可能としたトイレの整備を推進します。
- ・ 災害時利用にも考慮した給排水設備、電源供給設備や照明設備等の導入を行います。



ファニチャーと一体的に整備された、イベント時に使用可能な電源設備

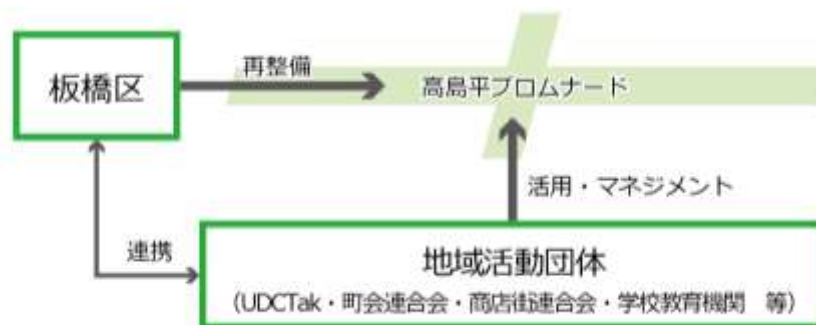
(9) 管理運営

人々の日常的な居場所となるためには、居心地の良い空間を整備するとともに、プロムナードを構成する緑地や道路等の各々の管理者による適切な維持管理を進めていくことが重要です。区や都等の施設の管理運営部局と、民間事業者、地域活動団体、地域住民、学生等の「民・学・公」が様々な形で連携・協働しながら、利用者の自由な利活用を促し、魅力や価値の向上を促す新たな管理運営の手法を取り入れていくことを検討します。

- ・長期的な視点に立った計画的な施設整備や更新、維持管理を行います。
- ・整備、維持管理、利活用等に、PFI^{※1}事業等の活用による多様な主体が関われる仕組みづくりを検討します。
- ・例えば、利用料や広告料、プロムナード内に設置したにぎわい機能の収益等のインセンティブの対価として、維持管理や緑地における各種プログラムの展開等のパークマネジメントを一体的かつ戦略的に民間事業者等が行う仕組みを検討し、民間事業者等の柔軟かつ優れたアイデアを活かしたサービスの提供や、新たな魅力の創出を図ることを推進します。
- ・アーバンデザインセンター高島平（以下、「UDCTak」という）^{※2}等の地域活動団体との連携を通じて、プロムナードの様々な使い方を継続的に検討し、活動の場としてプロムナードを積極的に活用していきます。
- ・プロムナードで起こる各種活動を通じて、新たな利用者の獲得を推進するとともに、地域の価値向上にも寄与させます。

※1：Private Finance Initiative（プライベート・ファイナンス・イニシアティブ）の略。民間に施設等の設計・建設・運営・資金調達を一体的に委ねるもので、「民設民営」における最も代表的な形態

※2：高島平を活動エリアとしている民・学・公の連携によるまちづくりの推進組織。詳しくは、P67 にUDCTakの概要を掲載しています。



プロムナードの活用・マネジメントの考え方